



TITLE:

表紙・原稿作成要領・編集後記・
裏表紙ほか

AUTHOR(S):

CITATION:

表紙・原稿作成要領・編集後記・裏表紙ほか. 物性研究 2000, 75(1):
174-174

ISSUE DATE:

2000-10-20

URL:

<http://hdl.handle.net/2433/96862>

RIGHT:

昭和42年11月14日 第四種郵便物認可
平成12年10月20日発行(毎月1回20日発行)
物 性 研 究 第75巻 第1号

ISSN 0525-2997

vol.75 no.1

物性研究

2000 / 10

1. 本誌は、物性の研究を共同で促進するため、研究者がその研究・意見を自由に発表し討論しあい、また、研究に関連した情報を交換しあうことを目的として、毎月1回編集・刊行されます。掲載内容は、研究論文、研究会・国際会議などの報告、講義ノート、研究に関連した諸問題についての意見などです。
2. 本誌に投稿された論文については、原則として審査は行いません。但し、編集委員会で本誌への掲載が不相当と判断された場合には、改訂を求めること、または掲載をお断りすることがあります。
3. 物性研究に掲載される論文の著作権は、物性研究刊行会に帰属することとします。
4. 本誌の論文を欧文の論文で引用される時には、Bussei Kenkyu (Kyoto) **73** (1999), 1. のように引用して下さい。

[原稿作成要領]

1. 原稿は、原則として日本語に限ります。
2. 投稿原稿は2部提出して下さい。但し、研究会報告は1部で結構です。
3. 別刷を希望の場合は、投稿の際に、50部以上10部単位で、注文部数・別刷送付先・請求先を明記の上、お申し込み下さい。別刷代金については、刊行会までお問い合わせ下さい。
4. ワープロ原稿を歓迎します。原則として写真製版でそのまま印刷されますので、以下の点に注意して原稿を作成して下さい。
 - 1) 用紙はA4を縦に使用。(印刷はB5になります。縮小率86%)
 - 2) マージンは、上下各約3cm、左右各約2.5cm。1ページに本文34行、1行に全角文字で42字程度にして下さい。
 - 3) 第1ページは、タイトルはセンタリング、所属・氏名は右寄せにして、本文との間に受理日を入れるので、余白を少しあけて下さい。
 - 4) 図や表は、本文中の該当箇所に貼り込み、図の下にキャプションを付けて下さい。
 - 5) 体裁については、上記は一応の目安ですので、多少の違いがあってもかまいません。
5. 手書き原稿の場合の原稿作成要領については、刊行会までお問い合わせ下さい。
6. 研究会報告の作成要領については、物性研究ホームページをご覧ください。か、刊行会までお問い合わせ下さい。

〒606-8502 京都市左京区北白川追分町

京都大学 湯川記念館内

物性研究刊行会

Tel. (075)722-3540, 753-7051

Fax. (075)722-6339

E-mail busseied@yukawa.kyoto-u.ac.jp

URL <http://www2.yukawa.kyoto-u.ac.jp/~busseied/>

編集後記

大学院時代に読んでかなり影響を受けた本に、「問題解決プロフェッショナル—思考と技術—」（齋藤嘉則著、ダイヤモンド社刊）というのがある。経営コンサルタントである著者が、ビジネスにおける様々な問題解決の方法を披露している。

たとえば、ある会社で製品が売れなくなったとする。その場合、原因としては様々なものが考えられよう。もし営業部に問題があったとして、単にがんばれと発破をかけても効果は薄い。「So what?」（だから何？）という質問を発して、具体的に何をやればよいかまでとことん追求していかなければならない。ほかにも「ゼロベース思考」、「40-60のルール」などなど様々な問題解決プロセスが紹介されている。

「ゼロベース思考」というのは、既存の概念を全て忘れて初心にかえって問題を考えるというものである。ご本人は意識しておられなかったかもしれないが、博士課程在籍中に大変お世話になったポスドクの方がこの考え方を徹底されていた。すでに確立していると信じられている理論でさえも疑ってかかるという姿勢には感心させられた。

「40-60のルール」というのは集めた情報をもとに解決策を考える労力と情報収集にかける労力の比のことである。問題に関わる全ての情報を集めたあとで、問題解決の方法を考えるというのではビジネスの世界では取り残されてしまう。いまある情報のなかで「仮説」をたて、具体的なアクションへおとしていく。これも研究のうえで役に立つ考え方だと思われる。というより知らず知らずこれらのことは応用されているのであろう。

物理の研究において、このような本がないものかと常々思っているのだがなかなか見当たらない。要領の良さよりも地道な努力が不可欠であることから、あまり馴染まないのかもしれない。

ディラックが量子力学を特殊相対性理論的に書き直してディラック方程式を発見したのは有名だが、当時は既にクライン-ゴルドン方程式が知られており特殊相対論的波動方程式はクライン-ゴルドン方程式で良しとする風潮が広まっていたそうである。しかしディラックはクライン-ゴルドン方程式の解（の絶対値の自乗）が確率密度として解釈できない点が不満であった。その点を改善すべく努力した結果、ディラック方程式を発見したのである。ディラックは研究の問題設定において、矛盾点を解決するものと、ふたつのものを統合するものの二つに大別されるとして、前者のほうが実り豊かであると述べている。（「物理学に生きて」（青木薫訳、吉岡書店））このような問題設定の指針や問題解決プロセスが白日のもとにさらされて整理されれば、科学の発展を促進するのではなかろうか。

（T. M.）

[物性研究]

編集長
関本 謙 (京大・基研)

編集委員
佐々木 豊 (京大・理・物理)
藤本 聡 (京大・理・物理)
水口 毅 (京大・理・物理)
加藤 将樹 (京大・理・化学)
早川 尚男 (京大・人環)
Manfred Sigrist (京大・基研)
森成 隆夫 (京大・基研)
小嶋 泉 (京大・数研)

各地編集委員
津田 一郎 (北大・理・数学)
本堂 毅 (東北大・理・物理)
佐々 真一 (東大・教養・基礎科第一)
堀田 貴嗣 (東大・物性研)
出口 哲生 (お茶の水大・理・物理)
山田 鏑二 (信州大・理・物理)
平田 文男 (分子科学研)
倭 剛久 (名大・理・物理)
池田 研介 (立命館大・理工・物理)
菊池 誠 (阪大・理・物理)
市岡 優典 (岡大・理・物理)
吉森 明 (九大・理・物理)

E-mail: busseied@yukawa.kyoto-u.ac.jp

URL: <http://www2.yukawa.kyoto-u.ac.jp/~busseied/>

物 性 研 究 第75巻第1号 (平成12年10月号) 2000年10月20日発行

発行人	関 本 謙	〒606-8502	京都市左京区北白川追分町 京都大学湯川記念館内
印刷所	昭和堂印刷所	〒606-8225	京都市百万遍交差点上ル東側 TEL(075)721-4541~3
発行所	物性研究刊行会	〒606-8502	京都市左京区北白川追分町 京都大学湯川記念館内

年額 19,200円

[物性研究]

編集長
関本 謙 (京大・基研)

編集委員
佐々木 豊 (京大・理・物理)
藤本 聡 (京大・理・物理)
水口 毅 (京大・理・物理)
加藤 将樹 (京大・理・化学)
早川 尚男 (京大・人環)
Manfred Sigrist (京大・基研)
森成 隆夫 (京大・基研)
小嶋 泉 (京大・数研)

各地編集委員
津田 一郎 (北大・理・数学)
本堂 毅 (東北大・理・物理)
佐々 真一 (東大・教養・基礎科第一)
堀田 貴嗣 (東大・物性研)
出口 哲生 (お茶の水大・理・物理)
山田 鏑二 (信州大・理・物理)
平田 文男 (分子科学研)
倭 剛久 (名大・理・物理)
池田 研介 (立命館大・理工・物理)
菊池 誠 (阪大・理・物理)
市岡 優典 (岡大・理・物理)
吉森 明 (九大・理・物理)

E-mail: busseied@yukawa.kyoto-u.ac.jp

URL: <http://www2.yukawa.kyoto-u.ac.jp/~busseied/>

物 性 研 究 第75巻第1号 (平成12年10月号) 2000年10月20日発行

発行人	関 本 謙	〒606-8502	京都市左京区北白川追分町 京都大学湯川記念館内
印刷所	昭和堂印刷所	〒606-8225	京都市百万遍交差点上ル東側 TEL(075)721-4541~3
発行所	物性研究刊行会	〒606-8502	京都市左京区北白川追分町 京都大学湯川記念館内

年額 19,200円

会員規定

個人会員

1. 会 費：

当会の会費は前納制になっています。したがって、3月末までに次年度分の会費をお振込み下さい。

年会費 9,600円

1st Volume (4月号～9月号)

2nd Volume (10月号～3月号)

振替用紙は毎年2月号にとじ込んであります。振替用紙が必要な場合は、下記までご請求下さい。郵便局の用紙でも結構です。通信欄に送金内容を必ず明記して下さい。

郵便振替口座 京都 01010-6-5312

2. 送本中止の場合：

送本の中止は年度の切れ目しかできません。次の年度より送本中止を希望される場合、できるだけ早めにご連絡下さい。中止の連絡のない限り、送本は自動的に継続されますのでご注意下さい。

3. 送本先変更の場合：

住所、勤務先の変更などにより、送本先が変わる場合は、すぐにご連絡下さい。

4. 会費滞納の場合：

正当な理由なく1年以上の会費を滞納された場合は、送本を停止することがありますので、ご注意下さい。

機関会員

1. 会 費：

学校、研究所等の入会、及び個人でも公費払いのときは機関会員とみなし、**年会費 19,200円**です。学校、研究所の会費の支払いは、後払いでも結構です。申し込み時に、支払いに書類(請求、見積、納品書)が各何通必要かをお知らせ下さい。当会の請求書類で支払いができない場合は、貴校、貴研究所の請求書類をご送付下さい。

2. 送本中止の場合：

送本の中止は年度の切れ目しかできません。次の年度より送本中止を希望される場合、できるだけ早めにご連絡下さい。中止の連絡のない限り、送本は自動的に継続されますのでご注意下さい。

雑誌未着の場合：発行日より6ヶ月以内に下記までご連絡下さい。

物 性 研 究 刊 行 会

〒606-8502 京都市左京区北白川追分町 京都大学湯川記念館内

電話 (075)722-3540, 753-7051

FAX (075)722-6339

E-mail busseied@yukawa.kyoto-u.ac.jp

物 性 研 究 75-1 (10月号) 目 次

○講義ノート

「遍歴電子磁性体におけるスピンのゆらぎ」……………高橋 慶紀…… 1

○研究会報告

「フラストレーションとカイラル秩序」…………… 39

○編集後記…………… 174

物 性 研 究 75-1 (10月号) 目 次

○講義ノート

「遍歴電子磁性体におけるスピンのゆらぎ」……………高橋 慶紀…… 1

○研究会報告

「フラストレーションとカイラル秩序」…………… 39

○編集後記…………… 174